



## 感動が人の心を動かす！～修学旅行～

錦秋の彩り華やかな季節となりました。6年生が10月20日（金）～21日（土）奈良・京都への修学旅行に出かけました。思い出に残る最高の行事となり、出発から帰着まで感動の連続でした。「とうとうこの日がやってきました。お家の人たちに私たちの今の表情や雰囲気を覚えていただき、帰ってきた時に『何か雰囲気が変わった？』と思われる修学旅行にしましょう」という出発式での代表児童による決意表明に始まり、バスガイドさんの話を聞く姿、歴史で学んだ法隆寺や奈良の大仏、金閣寺などの文化遺産を観る姿、昼食を食べるレストランのスタッフさんへのあいさつやマナー、宿泊先「御殿荘」のスタッフさんへのあいさつや心配り、マナーよく過ごす姿、演芸会での盛り上がりや仲の良さ、タクシー分散学習での公共マナーを守る姿など、6年間の成長をしっかりと感じることができました。修学旅行で関わった人たちから「礼儀正しい子ばかりで気持ちよく仕事ができうれしかった」「みなさんとご一緒できてよかった」など、たくさんのお褒めの言葉をいただき、最高の気分になりました。また、帰着式では、「修学旅行は家に帰って終わりではなく、そこからの片付け、お家の人へのお礼までが修学旅行です。数え切れないほど、たくさんの人たちが関わった修学旅行なので、みんなしっかりとそのことを意識して振り返りましょう」という代表児童のあいさつを聞き、さらなる大きな感動が心に染みしました。



そして、もう一つ感動したエピソードがあります。宿泊先「御殿荘」で最後に部屋の点検をしていた先生が「とてもいい話があります」と、写真を見せてくれました。そこには、児童自身が用意したメモ帳に「お世話になりました。ありがとうございました」と書かれたものが写っていました。後で確認したところ、263号室の4名の児童が書いたものでした。他にも数名の児童が感謝の気持ちを書いたメモを各部屋に置いていたことが分かりました。その心遣いにも感動し、誇らしく思いました。

感動することにより人の心は動きます。人に対して感動したときは、その人を応援したくなります。人の感情が巡り巡って、何かの力になっているとしたら素晴らしいことです。人の心を動かす感動というものは、時代が変わっても人が生きていく上で、大切な感情であり続けてほしいと思います。

### ～ちょっといい話 その7～「御殿荘」のみなさんへの心温まるメッセージ

